



七海お姉ちゃんと川遊びに行きました

For Adult Only



8月の夜……

まだ田舎では
ホタルさんが
乱舞することが
あります

ホタルさんは
田舎の何もない
静かな夜を

幻想的な世界に
変えてくれます

そんな
ステキな夜に

また僕は
興奮してしまって…



おねえちゃんっ

ナナミ...
おねえちゃんっ

くちゅ

あ...っ

ボク...
お姉ちゃんの
中に...
いれたいよ...っ

ダメだよ...
だってミキくん
入れなくなつて

すぐに白いおしっこ
びゅびゅーって
でちゃうでしょ？

で...でも
僕...
お姉ちゃんの中に
入りたいよッ

うーん...

じゃあ
あと50回
くちゅくちゅして
白いおしっこシ
なかつたら
入れさせて
あげるね

ほんと?!
約束だよ!

ぜったいぜったい
約束だからね…っ

はっ

ぜったいボク
我慢するからっ

いちっ…
にっ…

き…っ

んん…っ!

ト
パ
パ
パ

ド
ン
ッ

ハ
ッ
ッ
ッ

フ
ッ
ッ

フ
ッ
ッ

ね？お姉ちゃんの
言ったとおり
だったでしょ？

ちえっ…やっぱり僕…
我慢できなかったよお…

ふふふ

フ
ッ
ッ
ッ





夏の盛りー！

ここは
村

あまり人が住んでない
げんかいしゅーらく？
ってところらしいです

この村は
大自然がすごくて
動物さんや虫さんも
いっーぱいっ

今年も僕は
夏休みを利用して
おじいちゃんと
おばあちゃんの家
遊びに来ています

まあ実際は
両親に無理やり
行かされてる
だけなんだけど…



僕は青山幹^{みき}
〇〇歳の
〇〇生です

だけど僕は
このお家が大好きっ
どうしてかって？

ふふふっ
それはね……

ここに来れば
七海お姉ちゃんに
会えるからっ!!

七海お姉ちゃんは
いつも優しくて
いい香りがしてー

お肌もすべすべで
テレビに出てくる
アイドルの人みたい

僕は
七海おねえちゃんが
大・大・大好きなのです!!

ほ



ミキくん
ほっぺに
アイスクリーム
ついてる

っ…
ついてないよお

はいっ
もうキレイに
なったよ

いつも綺麗で
いつも優しい
七海おねえちゃん…

だけど

七海おねえちゃんは
時々
悲しそうな顔を
する時があります…



遠くを見るような
目をして…
ちようど
今みたいに…

七海お姉ちゃん…
どうして今日は
悲しそうな顔を
してるの？

どうして？って
聞くだけなのに
僕にはそれが
できません…

お姉ちゃんに
元気になって
ほしい

だから僕は
秘密の大作戦を
考えてみました！

おねえちゃん
今日は
あの場所
に行こうよ

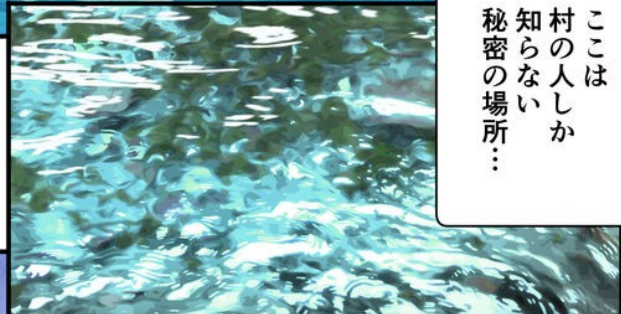
…あの場所？



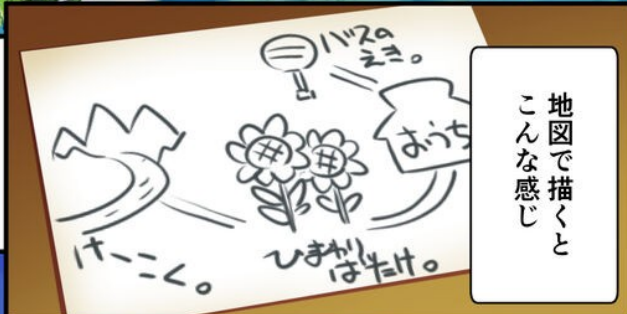


竜神渓谷ー：
ここは白い竜神様が
住んでるって
言われてる
でんせつの渓谷です

この森の中は
たくさん綺麗な
お水が湧き出て
マイナスイオンが
いーっっぱいっ



ここは
村の人しか
知らない
秘密の場所…



地図で描くと
こんな感じ



おじいちゃんが
作った
ひまわり畑を
通り抜けてー

曲がりくねった道を
奥まで進むと
この渓谷に
辿りつきます…

キラキラの
木漏れ日が
七海お姉ちゃん
のすべすべのお肌
にあたってー

何ぼーっと
してるの？

わっ
つめたいっ

僕だっつてえ

きゅっ

七海お姉ちゃん
すごくキレイ！

!!



ん？

ミキ……くん？

あ…



ふふふ
服…
濡れちゃったねっ

ゴ…
ゴメンナサイ…

大丈夫だよ
すぐ乾くから

……あのね
ボク…

ナナミ
お姉ちゃんの…

びしょ濡れの
お洋服みてたら…
その…

?…あー
そういうことか



甘えん坊だね
ミキくんは

いいよ
おいで…

……うん

んっ

んん…っ

七海お姉ちゃんは
こうやって時々
僕におっぱいを
吸わせてくれます

僕はこうしていると
なんだか
赤ちゃんに戻った
感じになって
不思議な
気持ちになります…

ちゅぽ
ぽ

ちゅぽ
ぽ



また
白いオシッコ…
びゅびゅって

出したく
なっちゃった
んだよね？

うん…っ
ナナミお姉ちゃんっ
僕…また
白いのビュビュッて
したくなっ…ちゃった

ふふっ
いいんだよ
いっぱい出して…

あっ

あっ



おん...

トッ

コッ

トッ

コッ

おん...

ふふふ…
気持ちよかった？

そして
またしても僕は
七海お姉ちゃんに…

白いオシッコを
いっぱい発射して
しまうのです…

いっぱい白いの
びゅびゅって
でたねっ

できるかなあ？

で…ッできるよ！
立ったまま
うしろから
お姉ちゃんの中に…ッ

でも
この場所…

足場が悪いから
無理じゃ
ないかな…？

うっ…
うん…ッ

入れ…たい…？

ナナミ
お姉ちゃん…
ボクッ

あ…ダ…ダメだ…
お姉ちゃんと
背が違うから
届かない…っ





は...っ!

は...っ!

は...っ!

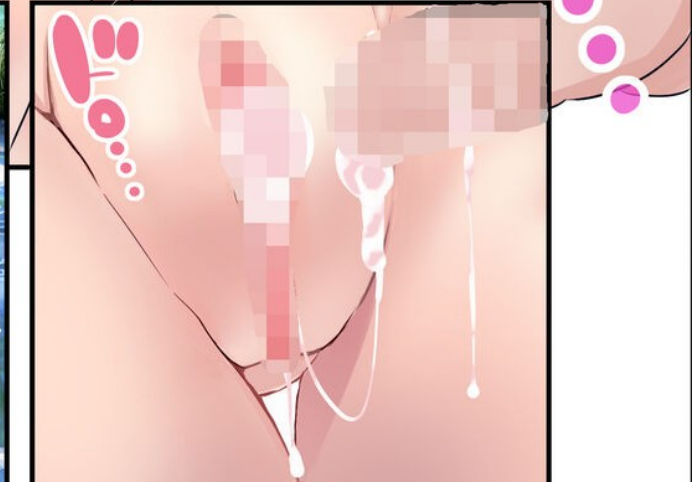
ガマンしないで...

いいんだよ
ミキくん...

ナナミ
おねえちゃんっ!
ボク...っ

もう...っ
出...っ
出ちゃう...っ!

出ちゃう
...よっ!





はい...ったああっ

は...ううっ

ん...っ

お姉ちゃん...っ

七海お姉ちゃんっ

んっ



ふふっ

ミキくんは
やっぱりおっぱいが
大好きなんだねっ

違うよっ
七海お姉ちゃんの
おっぱいが好きなんだよ

ちゃぽ

ちゃぽ

七海お姉ちゃんの
おっきなおっぱい
ボク大好き…っ

甘くて
イイ香りで…
プニプニで…

にゅんっ



あッあッ!
あッ!あッ!

いいよ
ミキくんっ

また
白いおしっこ
びゅびゅって
しようねっ

お姉ちゃん…ッ
ナナミ…
お姉ちゃん…ッ

ボク…また
びゅるびゅるって…
出ちゃうよっ

ふふふっ
いい…おしっこ
出てる…っ

お姉さんっ

びゅる



ふふふ
今日もたくさん
上手にびゆるびゆる
できたね

今日は
七海お姉ちゃんに
元気になってもらっ
たための川遊び作戦
だったけど…

結局
ボクがお姉ちゃんに
甘えさせてもらっ
ただけでした…

ボクが
大人だったら
お姉ちゃんの力に
なれるのに…

七海
お姉ちゃん

なに？
ミキくん

今日は
楽しかった？

うん
楽しかったよ

ほんと？

ホント

絶対
ほんと？



よかったあ
七海お姉ちゃん
少しは元気になって
くれたかな



絶対に
ホントっ



でも安心したら
なんだか急に眠く
なっちゃって…



今日は
たくさん
歩いた甲斐が
ありました



今日も
七海お姉ちゃんの
髪からは甘い
いい香りがしてー



ミキくん
おいでっ

おんぶされた
柔らかい背中からは
優しい温もりを
感じながら僕は…



ミキ……くん？

ふふっ
もう寝ちゃってる…

七海お姉ちゃんと
過ごす夏休みー

心配してくれて
ありがとう…

うれしかったよ…

2人の夏休みは
まだ始まった
ばかりです…





ANEITO

あとがき。

どうも、黒川いづみと申します。

このたびは
新刊【あねいと】を手にとってくださって
本当にありがとうございます！

前作から半年ぶりになってしまいましたね。
言い訳がましいかもしれませんが
この作品、フルカラー作品でもあり
背景なども力を入れておりますので
どうしてもハイペースでは作れなかったりします。。。

今回もうちょっとはやく出す予定でしたが
だいぶ延期に延期を重ねてしまいました。
すみません。。。

さて言い訳はこのくらいにしておいて
皆さん今作はいかがでしたでしょうか？
もし、今作独特の雰囲気癒されてくださって
おられましたら作者としてとても嬉しく思います。

続きを描くかどうか
例のごとく決めておりませんが
感想メッセージや応援メッセージなど
ツイッターなどからいただけたら
私が調子にのって続きの作品を急いで作るかもしれません？

もしよかったら期待せずに気軽に送ってみてください。

それでは今回はこのへんで。

また次回作でお会いしましょう！
それではまたねっ！

2022.7





誌名
発行元
印刷所
発行日
twitter

あねいと ー七海お姉ちゃんと川遊びに行きましたー
オーデイン
グラフィック
2022 8.14
<https://twitter.com/kurokawaidumi>

ANEITO

※本作に登場するキャラクターは架空の創作物であり
実在する個人・団体とはまったく関係ありません。



Doujin

R-18

for adult only

本誌は成年向けコミックです。未成年者の閲覧・購読はご遠慮ください。